

2022 年度シラバス

高等学校 2 年



駒沢学園女子中学・高等学校

単位数	3 単位
担当	中島, 渡部
教科書	新高等学校現代文 B(明治書院)
対象生徒	高校 2 年

1. 授業の目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する力の育成を目指す

- ①基本的な漢字や語彙力を習得し、精読することができるようにする。
- ②自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようにする。
- ③文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、自分の考えを深めることができるようにする。

2. 副教材・参考書

- 『新演習 現代文アチーブ 1 四訂版』(桐島書店)
- 『評論速読トレーニング 700』(数研出版)
- 夏目漱石『こころ』(新潮社)
- 『国語便覧』(大修館)
- 『セレクト漢字検定 5 級～2 級 漢字トレーニング』(いいずな書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・学習活動・課題に積極的に取り組む。
- ・授業内容を毎時間しっかりとまとめる。
- ・前の時間の学習内容の定着度を測るため、適宜確認テストを実施する。
- ・提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・家庭学習の習慣をつけるために、宿題もしくは次の時間の確認テスト等の課題を課す。
- ・再試は定期試験の得点が 30 点未満のものを対象とする。
- ・教材に応じて家庭学習用の課題を出す。
- ・週 1 回、授業内で漢字テストを実施する。
合格点を 70 点とし、不合格の場合、課題を提出する。
漢検合格を目指す。
- ・読書ノートを作成。1 月半で 2 冊の読書を必修とし、学期に 2 回は授業内で交換会を開く。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)，提出物(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
第一学期	中間	教科書 小説『山月記』中島敦 ・『評論トレーニング 700』 ・漢字テスト準2級 ・『こころ』夏目漱石 音読
	期末	教科書 評論『ロボットとは何か』石黒浩 ・『評論トレーニング 700』 ・漢字テスト準2級 ・『こころ』夏目漱石 音読 ・『現代文アチーブ1』四訂版
第二学期	中間	教科書 詩『旅上』萩原朔太郎『永訣の朝』宮沢賢治 ・『評論トレーニング 700』 ・漢字テスト準2級 ・『こころ』夏目漱石 音読 ・『現代文アチーブ1』四訂版
	期末	教科書 小説『こころ』夏目漱石 ・『評論トレーニング 700』 ・漢字テスト準2級 ・『こころ』夏目漱石 音読 ・『現代文アチーブ1』四訂版
第三学期	学年末	教科書 評論『「間」の感覚』高階秀爾 ・『評論トレーニング 700』 ・漢字テスト準2級 ・『現代文アチーブ1』四訂版

生物基礎(2022年度)

単位数	2単位
担当	稲津
教科書	高校生物基礎 新訂版 (実教出版)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。また、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 副教材・参考書

アクセスノート生物基礎 改訂版 (実教出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業中に配布する授業プリントには、メモを取りながら取り組むことが望ましい。
- ・各単元の授業が終了したら、問題集で対応する問題を解いて復習する。分からないところは質問する。
- ・試験前に放課後セミナーを実施する場合がある。試験の最終確認に活用すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・調べ学習およびプレゼンテーション、実験レポートなどの課題を課す。取り組み状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験毎に授業ノートと問題集の提出を求める。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験または課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(90%)、パフォーマンス評価(10%)により評価をする。
- ・その合計点を平均点変動制の表を用いて、10段階の評価をする。
- ・パフォーマンス評価点は、小テスト、宿題・課題、実験レポート、発表などで評価する。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー
	期末	第1章 生物の特徴 2節 細胞とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA
二学期	中間	第2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝情報の分配 3節 遺伝情報とタンパク質の合成 第3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境
	期末	第3章 生物の体内環境とその維持 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫
三学期	学年末	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 気候とバイオーム 3節 生態系と物質循環

スポーツ(2022年度)

単位数	2
担当	芦田、鳥海、大地
教科書	
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標
スポーツの必要性を十分に理解させ、生涯にわたって各自の健康を考えて、生活に欠かすことのできない重要な一部として位置づけさせる。
2. 副教材
アクティブスポーツ (大修館書店)
3. 学習する上での留意点、アドバイス等
ケガや傷害を起こさないように準備運動と整理運動をしっかりと行う。
事故防止に心がけてお互いの安全を確認する習慣をつけさせる。
4. 再試について
特になし
5. 評価の基準について
実技試験と調べ学習課題の提出 (パフォーマンス評価) で評価する。

	実技試験 1	実技試験 2	パフォーマンス (調べ学習課題)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%	30%~80%	30%~80%
C	0%~30%	0%~30%	0%~30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

学期	種目	授業内容	指導内容
第一学期	スポーツテスト 駒女体操 体育祭種目練習 水泳	50m走、立幅跳、ハンドボール投げ クロール、平泳ぎの25mタイム取り	体力と運動能力の現状を確かめる。(走る、投げる、跳ぶ) 25mを完泳させ、かつよりタイムが良くなるように指導する。
第二学期	バレーボール 持久走	パス、サーブなど 実技テスト ゲーム 900mタイム (3周) 1500mタイム (5周)	パス・サーブ等の基礎技術を身につける。 心肺機能や全身持久力を高める。 毎週タイムを測定する。
第三学期	サッカー	パス、ドリブル、ドリブルシュート 実技テスト ゲーム・審判法	個人が基本技術を身につけて、連携プレイができるようにさせる。 チームワークを大切にし、ルールを覚え理解させる。 心肺機能や全身持久力を高める。

保健(2022年度)

単位数	1
担当	芦田大介
教科書	現代保健体育・大修館書店
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を具体的かつ行動的に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2. 副教材

プリント

3. 学習する上での留意点、アドバイス等

単に1教科だけでなく関連の教材や積極的な学校生活が送れるようにする。

日常生活で健康問題に遭遇した場合に活用できるように自らの心身への興味・関心を促す。

4. 再試について

特になし

5. 評価の基準について

試験の得点(80%)及び提出物(20%)により評価する。

	保健試験	パフォーマンス (調べ学習課題)	パフォーマンス(提出物)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%	30%~80%	30%~80%
C	0%~30%	0%~30%	0%~30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	日常的な応急手当 思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康
二学期	期末	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 高齢者のための社会的取り組み 発育発達老化の総まとめ 保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康
三学期	学年末	医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策 総まとめ

コミュニケーション英語Ⅱ(2022年度)

予備単位数	4単位
担当	濱田、稲石、丹野、伊澤
教科書	啓林館 Landmark Fit English Com.Ⅱ
副教材	啓林館 Landmark Fit English Com.Ⅱ 予習・完成ノート 数件出版 英語4技能型テストへのアプローチ 1 美誠社 WORDBOX 美誠社 WORDBOX ESSENTIAL 活用ワークブック 実践編
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

- ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

「I like English」と生徒に思わせる授業を展開し、「Listen to what I have learned」といえる生徒を育てる。レベルは英検準2級と定め、徹底的に中学レベルの英語を使わせる。

2. 年間の授業の進め方

- ア 授業50分の中で生徒が言語活動する時間を多くとり、教員が指示指導する時間は必要最低限とする。
- イ 週1度Word Boxより範囲を決めテストを行う。
- ウ 週1度英語4技能型テストへのアプローチを取り組み、特にListening、Writingの力がつくよう指導する。

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ア 授業では言語活動を中心とし、ターゲットセンテンスが使えるようになるまで繰り返し練習する。
- イ 家庭学習は、単語の学習、繰り返しの音読、オーセンティックな活動が身につくための復習問題を中心に行う。
- ウ 家庭学習がスムーズに行えるように、授業中に導入を行う。

4. 宿題・課題・再試について

- ア 予習完成ノート、授業内プリントの完成を宿題とする。提出状況を5点満点で評価し、パフォーマンス評価の対象とする。
- イ 定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験、又は課題に取り組みなければならない。

5. 評価の基準について

- ア 各学期、パフォーマンステストを行い、10点満点で評価する。欠試又は未提出はC評価とする。
- イ 各学期、WORDBOXテストの結果の平均点を5点満点に換算する。
- ウ 定期試験の得点を評価の80%とし評価をする。

以下の表のように観点別評価をつける。

	WB 提出物	定期試験	パフォーマンステスト
A	授業内で学んだことをもとに主体的な学習が深まっている。	授業内で学んだことをもとに別の表現を使って自分の考えを表現できる。	課題に対し主体的に取り組み、自分の考えを表現できる。
B	家庭学習が身につけており、授業内の学習も定着している。	授業内で学んだことが定着している。	課題の準備が充分行われ、主体的に取り組みようとする姿勢が見られる。
C	授業内で学んだことがおおむね身につけている。	授業内で学んだことがおおむね身につけている。	課題に取り組みようとしている意欲は感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

- 定期試験においては20%を初出の問題とする。
- 到達度テストの結果を反映し、スターディーサプリの復習問題を長期休みの宿題として導入する。
- 6月のGTECを視野に入れ、textの内容を理解し、英語で意見やサマリーが言えるように指導する。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

学期	試験	月	課	題材内容とそのねらい主な言語材料	試験範囲
第1学期	中間	4	1	Wordbox	○4技能 [20点] Test 1・2 ○TEXT &WB[60点] Lesson1 ○応用[20点]
				4技能型テスト TEST1・2	
				I' m the Strongest! <スポーツ・生き方>車いすテニスプレーヤー, 国枝慎吾選手	
第2学期	期末	5/6	3	Wordbox	○4技能 [20点] Test 3・4 ○TEXT &WB[60点] Lesson 3 ○応用[20点]
				4技能型テスト TEST 3・4	
				Saint Bernard Dogs <動物・外国>スイスの国犬 セントバーナードの歴史	
				パフォーマンステスト topic: パラオリンピック	
第2学期	中間	9	4	Word box	○4技能 [20点] Test 5 ○TEXT &WB[60点] Lesson4 ○応用[20点]
				4技能型テスト TEST5	
				Chanel' s Style <女性・生き方>ファッション界のカリスマ、シャネルの生き方	
第2学期	期末	10/11	5	Wordbox	○4技能 [20点] Test6 ○TEXT &WB[60点] Lesson5 ○応用[20点]
				4技能型テスト TEST6	
				Science of Love <心理・科学>科学で解明する恋に落ちる原因	
				パフォーマンステスト topic: ココシャネルにインタビュー	
第3学期	学年末	1	6	Wordbox	○4技能 [20点] Test7 ○TEXT &WB[60点] Lesson6・10 ○応用[20点]
				4技能型テスト TEST7	
				Gaudi and His Messenger <芸術・生き方>建築家ガウディとその遺志を継ぐ日本人彫刻家	
		2	10	Bhutan: A Happy Country <外国・国際社会>幸福の国ブータン	
				パフォーマンステスト topic: Happiness	

家庭総合(2022年度)

単位数	2単位
担当	七島, 川里, 八木
教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来(実教出版)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

人が生きていくうえで必要な知識、家庭生活にかかわる基本的な知識を身につける。
消費者としての自覚を持ち、消費者問題に関わる内容を知る。そのうえで家庭経済についての理解を深める。
食生活の現状を把握する。また、そこで問題点を栄養・食品に関する内容と関連づけながら、知識と技術を身につける。
実習(被服製作)を通して自立に向けた技術を身につけるとともに現状の生活課題を自ら発見し解決する。

2. 副教材・参考書

社会への扉(消費者庁)の冊子
被服製作「カーゴパンツ(アイセック)」

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- 1学期:消費行動に関する課題(問題商法、クレジットカード、キャッシュレス)の提出
社会への扉(消費者庁)の活用
DVD視聴「知っておきたいクレジットカードの基本(教育図書)」
「ホントにいいね?その契約(東京都消費生活総合センター)」
「キャッシュレス社会の歩き方(東京都消費生活総合センター)」
- 2学期:「カーゴパンツ」製作
- 3学期:「カーゴパンツ」と「実習の記録(感想と自己評価、コーディネート)」の提出

4. 宿題・課題・再試について

- 1学期:消費行動に関する課題(問題商法、クレジットカード、キャッシュレス)
- 2学期:「カーゴパンツ」作品の部分点
- 3学期:「カーゴパンツ」作品の部分点 「実習の記録(感想と自己評価、コーディネート)」

5. 評価の基準について

- 1学期:期末試験80%、課題20%
- 2学期:中間試験70%、作品30%
- 3学期:学年末試験85%、作品と実習の記録15%

6. その他

定期試験の範囲は、各クラスの授業進捗状況により変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	<p>3編 消費者として自立する</p> <p>1章 消費行動を考える</p> <p>1 消費者と意思決定 消費行動において意思決定のプロセスを理解する。消費者としての自覚と責任を理解させる。</p> <p>2 社会の変化と消費生活 契約多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する</p> <p>3 消費者の権利と責任 消費者として自主的に行動する必要性を理解する。</p> <p>3編 生活をつくる</p> <p>1章 食生活をつくる</p> <p>3 栄養と食品のかかわり 食品の栄養とからだの成分とのかかわりに関心を持つようにする。 炭水化物の種類と働き、多く含む食品の特徴についての基礎的な知識を習得する。</p>
二学期	中間	<p>2編 生活とかかわる</p> <p>1章 食生活をつくる</p> <p>3 栄養と食品のかかわり 脂質・たんぱく質・ミネラルの種類と働き、多く含む食品の特徴についての基礎的な知識を習得する。</p> <p>実習 衣服製作「カーゴパンツ」 製作を通して衣服構成や基礎的な縫製技術を身につける。</p>
三学期	学年末	<p>実習 衣服製作「カーゴパンツ」 製作を通して衣服構成や基礎的な縫製技術を身につける。</p> <p>2編 生活とかかわる</p> <p>1章 食生活をつくる</p> <p>3 栄養と食品のかかわり ミネラル・ビタミンの種類と働き、多く含む食品の特徴についての基礎的な知識を習得する。 調味料・香辛料・嗜好食品の特徴を理解し、調理、日常生活に生かせるようにする。 特別用途食品と保健機能食品を理解し、適正な食生活を考える。</p> <p>4 食品の選び方と安全 食品の表示を理解し、適切に食品を選択することができるようにする。 食品を安全に選択、保存するために、食中毒や食品添加物への理解を深める。</p>

仏教(2022年度)

単位数	1単位
担当	永井 俊道
教科書	駒沢学園の仏教(駒澤学園)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

学校行事も持つ意義について学び、『修証義』についてどのような内容が記されているのか理解したうえで、現代社会にける問題点と関連させながら、仏教の持つ「生命」や「いのち」という問題について考え、「死生学」的な観点から考えられるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良く生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。

2. 副教材・参考書

駒沢学園の仏教(駒澤学園)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業に復習として出される課題や板書事項をまとめたノートをきちんと提出することが大切になります。与えられた課題について、字数にも注意しながら、論理的な文章でまとめる努力をしてください。

また、課題やノート提出は期限内に、しっかりと自分の考えが伝わるような文章表現を心掛けてください。

4. 宿題・課題・再試について

仏教の授業で取り上げる社会の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を含みます。

視聴覚教材を見ての、感想や意見などをロイロノートに提出します。

予習・復習課題は、ロイロノートに提出します。

坐禅実習も成績に含まれます。真剣に取り組みましょう。

5. 評価の基準について

・単元テストの得点(70%)、提出物と坐禅実習(30%)により評価をする。

評価方法	割合	評価基準
定期試験	70	定期試験の点数
坐禅実習	5	坐禅実習に出席し、集中して座ることができたか
提出物	20	授業ごとのまとめや課題、予習復習内容など
ノート	5	ノートのまとめ方など

6. その他

- ・授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	1、「花まつり」について【p52～p56】 2、釈迦の生涯について（1）【p17～p27】 ・誕生・四門出遊・出家修行・成道・初転法輪・布教活動・入滅までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせながら考える。 3、坐禅実習
二学期	期末	1、「追善記念日」について【p57】 2、「修証義」について ・「修証義」の成立と現代社会での問題との関連性について考える。 ・第1章～第4章から、日常生活と関わり合いのある部分を抜き出し、意味を考えながら、現代社会での問題点と照らし合わせて考える。 3、「摂心会」と「成道会」について【p58～p59】 4、写経・写仏 5、坐禅実習
三学期	学年末	1、「修証義 第5章 行持報恩」について ・意味を考えながら、我々に何を伝えようとしているのかを考える。 2、「涅槃会」について【p64～p65】 3、「山上忌」について【p66～p67】 4、坐禅実習

高2 ライフデザイン(2022年度)

単位数	1単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

人生のターニングポイントで、自分の満足し得る選択肢を見出すことが出来る力＝「人生を切り拓く力」を身に付ける。5つの分野（コミュニケーションスキル・キャリアプラン・マネープラン・ウィメンズライフ・ジェンダー）の活動を行う。

2. 副教材・参考書

『アンガーマネジメント Vol.2』（一般社団法人アンガーマネジメントジャパン）

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①グループワーク（協働型学習）が、中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。
- ②自分の考えをまとめて発表する活動では、人に伝わるように留意する。
- ③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は5段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」として Komajo Quest と総合して A・B・C の3段階の評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画			
学期	試験	授業内容（教材）	
一学期	期末	マネープラン コミュニケーションスキル ウィメンズライフ	ハンバーガー店を作ろう アンガーマネジメント Vol.2 「傾聴」 助産師・産婦人科医講演会
二学期	期末	ジェンダー キャリアプラン ウィメンズライフ	世界の女性たち 社会人ワークショップ デートDV講演会
三学期	学年末	キャリアプラン	自己PR

Komajo Quest (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校 2 年

1. 授業の目標

プロジェクトを進め、将来生きていく上で必要な力を身につける。

「思考力や判断力、表現力」「さまざまな人々と協働して学ぶ態度」などの、新しい大学入試や社会で必要な力が自然に身につけていく。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

①グループワーク（協働型学習）が、中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。

②自分の考えをまとめて発表する活動では、人に伝わるように留意する。

③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は 5 段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」としてライフデザインと総合して A・B・C の 3 段階の評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容（教材）
一学期	Logical thinking Project
二学期	My Favorite Project
三学期	Corporate intern Project

音楽Ⅱ (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	平田亮介
教科書	高校生の音楽 (教育芸術社)
対象生徒	高校 2 年 音楽選択者

1. 授業の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽に対する感性をより豊かにし、表現の技能を伸長し、創造的に表現する能力を高める。
- (3) 世界の多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

2. 副教材・参考書

リコーダーライブラリー

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・歌唱や器楽の授業ではクラスメイトと協力して授業を進めることがあるので協調性を
- ・授業で行った基本的な音楽の知識は授業内小テストでこまめな確認を行う。小テストの前にはプリント学習などを配布するので内容理解に努める。
- ・鑑賞などでは自分の言葉で詳しく書くことを大切にする。

4. 宿題・課題・再試について

提出物は基本的にロイロノートへの提出とする。

授業内小テストも定期試験と同様に点数が低い場合は再試を行う場合がある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)，提出物(20%)により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	筆記試験 実技試験 (基礎的な技能)	鑑賞授業 実技試験 (応用・表現等)	提出物・課題等
A	100%～80%	100%～80%	100%～80%
B	80%～30%	80%～30%	80%～30%
C	30%～0%	30%～0%	30%～0%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	歌唱 日本の歌 (夏は来ぬ 日本語の発音) 器楽 アンサンブル (楽器の音色の重なり カノンの魅力) 鑑賞 ブラームス マーラー ハンスロット (作曲家の苦悩)
	期末	
二学期	中間	歌唱 女声三部合唱 (ハーモニーのバランス 歌詞に込められたおもい) 器楽 リズム (Clapping Quartet No2) 鑑賞 ベルリオーズ ストラヴィンスキー ショスタコーヴィチ (ロマン派音楽 原始主義 戦争と音楽)
	期末	創作 カノンコードを使った創作 (Garage Band) 楽典 音程
三学期	学年末	歌唱 イタリア歌曲 (言葉の響き 旋律の美しさ Caro mio ben) 器楽 リコーダー (ホールコンサートの実践) 鑑賞 ミュージカル 作品の (レ・ミゼラブル)

美術Ⅱ（2022年度）

単位数	2単位
担当	高橋 千草
教科書	美術Ⅱ 光村
対象生徒	高校2年 美術選択者

1. 授業の目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

2. 副教材・参考書

特になし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
 - ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
 - ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
 - ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

4. 宿題・課題について

- ・授業内で完成されない場合は宿題となる。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物100%）により評価をする

6. その他

授業計画は予定であり進捗状況により課題の増減が起こる事もある。

リモート授業等で授業内容の変更あり

美術Ⅱ授業計画

学期	授業内容
1学期	顔のイラストレーション 静物画（油彩）
2学期	1学期の続き コマ撮りアニメーション 文房具をモチーフにした色面構成
3学期	エンボス版画 ポップアップカード

年間を通じて人物クロッキーを行う

書道Ⅱ(2022年度)

単位数	2単位
担当	酒井 篤史
教科書	書道Ⅱ(教育図書)
対象生徒	高2年生 書道選択者

1. 授業の目標

書の表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、書の文化や伝統を理解する。
書道Ⅰに引き続き、臨書力を養う。

2. 副教材・参考書

プリント・彩玉ボード・硬毛検定過去問

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

2時間の時間配分を考え、できるだけ集中して練習できるようにする。
用具の取り扱いに十分注意する。

4. 宿題・課題・再試について

基本的には4時間に1度、作品を提出する。

5. 評価の基準について

- ・作品制作の得点(80%)、ノート(10%)、発表など(10%)
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	パフォーマンス(ノート)	パフォーマンス(作品制作)	パフォーマンス(発表など)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%	30%~80%	30%~80%
C	0%~30%	0%~30%	0%~30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。

授業計画		
学期	教科書ページ	授業内容(教材)
一学期	P.34~P35 P.52~P.53 P.40~P.45 P.46~P.51	0. 曹洞宗書道展作品 1. 書の古典を学ぶ 大陸文化の摂取と天平の美術 2. 蘭亭序「天朗氣清」 3. 風信帖「風信雲書」 「風信雲書自天翔臨披之閱之如揭雲霧兼惠止觀妙門」半紙に4字を書く「発菩提心」 ※書写の復習を兼ねて行書とは何かを学び、歴史を各自調べてみる 4. 行書作品の鑑賞と臨書 それぞれの特徴をつかむ 5. 書教展の作品作り(半切作品)
二学期	P.24~27 P.22~P.23 P.34~40 P.82~P.99 P.80~P.81	1. 隸書の古典に学ぶ 曹全碑「主張」 2. 刻字 好きな字を辞書で調べセラムミックボードに転記し、削る。 3. 草書の古典に学ぶ 書譜「神融筆暢」 4. 漢字仮名交じりの学習 5. 蓬萊切
三学期	P.66~79	1. 仮名の書の世界 高野切第1種 関戸本古今和歌集 寸松庵色紙

数学Ⅱ(2022年度)

単位数	3単位
担当	生嶋, 萩原
教科書	数学Ⅱ Standard(東京書籍)
対象生徒	高校2年 選択Ⅱ(A,B)

1. 授業の目標

いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数および微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

Standard Buddy WRITE II+B(東京書籍)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し, 例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は, WRITE 問題集, 宿題プリントで復習する。疑問点は質問し, 放置しない。
- ・試験前に放課後セミナーを実施する。試験の最終確認に活用すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・WRITE 問題集, 宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は50点以上とする。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本60%応用30%), 提出物(10%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり, 授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	1章 整式・分数式の計算 ・整式・分数式の計算(整式の乗法と因数分解, 二項定理, 整式の除法, 分数式とその計算) ・2次方程式(複素数とその演算, 解の公式, 解と係数の関係)
	期末	・高次方程式(因数定理, 簡単な高次方程式) ・式と証明(恒等式, 不等式の証明) 2章 図形と方程式 ・点と直線(直線上の点の座標)
二学期	中間	・点と直線(平面上の点の座標, 直線の方程式, 直線の関係) ・円(円の方程式, 円と直線, 2つの円の位置関係) ・軌跡と領域(軌跡とその方程式, 不等式の表す領域, 連立不等式の表す領域) 3章 三角関数 ・三角関数(一般角, 弧度法)
	期末	・三角関数(三角関数, 三角関数の性質, 三角関数のグラフ, 三角関数を含む方程式・不等式) ・加法定理(加法定理, 加法定理の応用, 三角関数の合成) 4章 指数関数・対数関数 ・指数関数(整数の指数, 累乗根, 有理数の指数, 指数関数とそのグラフ)
三学期	学年末	・対数関数(対数とその性質, 対数関数とそのグラフ, 常用対数) 5章 微分と積分 ・微分係数と導関数(平均変化率, 微分係数, 導関数, 導関数の計算) ・導関数の応用(接線の方程式, 関数の増減, 関数の極大・極小, 関数の最大・最小, 方程式・不等式への応用) ・積分(不定積分, 定積分, 定積分と面積)

日本史B (2022 年度)

単位数	4 単位
担当	上戸, 根本
教科書	改訂版高校日本史(山川出版社)
対象生徒	高校 2 年 選択Ⅱ(A B)

1. 授業の目標

日本の社会・文化の特色についての認識を深めることで、歴史的思考力を身につける。日本の政治・社会の展開や国際的な役割を理解する。

日本がどのような過程を経て現代の姿となったのかを学ぶ。

2. 副教材・参考書

新詳日本史 (浜島書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、全体の把握を出来るようにしておくこと。
- ・授業はプリントを使用し、板書事項や気がついた点を各自が記入する。
- ・小單元ごとに配布する宿題プリントで復習をすること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・小單元ごとに一問一答形式の宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・適宜、定期試験に向けて小テストを実施する。小テストの結果はパフォーマンス評価の対象とする。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は 50 点以上とする。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(90%)、小テスト(4%)、宿題(3%)、提出物(3%)により評価をする。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 古代社会の形成 ・日本文化のはじまり ・農耕の開始 ・ヤマト政権と古墳 第2章 律令国家の形成 ・律令国家の成立 ・律令国家の繁栄 ・律令国家の変質
	期末	第3章 貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士の台頭
二学期	中間	第4章 武家社会の形成 ・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立と展開 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化
	期末	第5章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・下剋上の社会 ・室町文化 ・戦国の動乱
三学期	学年末	第6章 幕藩体制の成立 ・織豊政権 ・江戸幕府の成立 ・江戸初期の外交と文化 第7章 幕藩体制の展開 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化

世界史B(2022年度)

単位数	4単位
担当	深谷 真優
教科書	高校世界史 改訂版(山川出版社)
対象生徒	高校2年 選択Ⅱ(A B)

1. 授業の目標

世界の動きを個別の事象としてではなく、すべてに関連があることを理解する。

人類が直面する課題を、政治・経済・社会・文化などの様々な観点から多角的に考察する。

世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考察する力と、他地域の文化を理解し、協調していく態度を身に付ける。国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

歴史資料などの読み解きの経験を通して、考える力を養う。小テスト・課題を活用して基礎学力を養い、記述形式の問題にも応用できる力も身につけさせる。

[中期目標] 教科書の内容を理解し、史料を見て考察する力を養う。

[長期目標] 講義を通して自らの力で歴史を読み解き、その事象が起こった背景を歴史的な視野と思考で考察できる。

2. 副教材・参考書

- ・新詳 世界史図説(浜島書店)
- ・高校世界史基本用語問題集 ツインズ・マスター(山川出版社)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

積極的な姿勢で授業に臨み、主体的に考えながら学習して下さい。授業内で取り扱った歴史上の話を自ら調べるなどして、歴史の裏にあるエピソードを知り、それを友人や家族との話題にすることで、世界史をより身近なものとしてほしいと思っています。さらに現在起こっている事件と世界の歴史を結びつけ、関心と課題意識を高めることができるよう、適宜ニュース解説を聞き、因果関係等を考察してみてください。そして、授業で理解できなかった所は必ず教員に質問をして下さい。

4. 宿題・課題・再試について

- ・学習状況に応じた宿題・課題を随時課す。
- ・合格点に到達しない場合、再試を行うこともある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(90%)、小テスト・課題・提出物(10%)により評価をする。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・時代区分 ・先史の世界 ・オリエントと地中海世界
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の誕生から進化の過程を知り、自然環境との関連を考察する。 ・国家の成立・発展の初期段階である古代オリエント世界を知るとともに、現在の世界に繋がる、影響を与えている文化を学ぶ。 ・ギリシア文化がオリエントや周辺へと広がる様子を学ぶ。 ・地中海世界に育まれた都市文明の独自性と交流、統合の歴史を理解し、後世のヨーロッパ社会への影響を考察する。 ・これまでのすべての歴史を吸収したローマ世界を知り、現代との相違点を考え学ぶ。 <p>ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。</p>
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・アメリカの古代文明 ・内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ・イスラーム世界の形成と発展
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域の多様な自然条件を理解するとともに、この地域を特徴づける宗教や思想等の起源を理解する。 ・日本人の生活に内在する仏教の成立・衰退過程を知り、インド独自の発展の様子を学ぶ。 ・遊牧民の生活様式や特徴を学び、世界への影響や今日への繋がりを学ぶ。 ・日本に最も近い四代文明の成立・発展過程を知り、中国独自の歴史や日本との相違点を学ぶ。 <p>ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。</p>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の形成と発展 <ul style="list-style-type: none"> ・現在のヨーロッパ世界の基礎が形成される中世の歴史を知り、現在とのつながりを考え理解する。 <p>ロイロノートで意見や調べたこと等提出・発表を行う。</p>

古典B (2022年度)

単位数	4単位
担当	中島, 穂谷野, 渡部
教科書	新高等学校古典B(明治書院)
対象生徒	高校2年 選択Ⅱ(CD)

1. 授業の目標

- ①古典文学に親しみ、古典の楽しさを実感する。
- ②古典文法の基礎、重要古語、漢文の句法を修得する。
- ③古文・漢文を、文法事項を習得しながら、数多く読みこなす。
- ④古文の精読と速読の両方ができる力を身に付ける。

2. 副教材・参考書

- 『改訂版 国語便覧』(大修館書店)
- 『基礎から学ぶ解析古典文法 改訂版』(桐原書店)
- 『基礎から学ぶ解析古典文法 演習ノート』(桐原書店)
- 『古文単語330』(いいずな書店)
- 『基本の古典 古文漢文』(尚文出版)
- 『すらすら読める速読古典Ⅰ』(京都書房)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・古文・漢文のリズムをつかめるように繰り返し音読する。
- ・家庭学習の習慣化と前回学習内容の定着度を測るため、確認テスト・古文単語テストを行う。
- ・予習を習慣化し、復習しやすいノート作りを目指す。

4. 宿題・課題・再試について

- ・家庭学習の習慣化と前回授業内容の定着度を測るため、確認テスト等を行う。
- ・定期試験で得点の低かった分野、特に文法事項については課題を課す。
- ・各定期試験前に必ずノートを提出する。
- ・古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ・速読課題・テキスト宿題を用いて、読解力を高める。
- ・古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ・週1回、授業内で古文単語テストを実施する。
合格点を7点とし、不合格の場合、課題を提出する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)、提出物(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
第一 学期	中 間	～古典の世界に親しむ～ 教科書 古文『沙石集』 「児の飴食ひたること」 漢文『列子』 「朝三暮四」 ・『すらすら読める速読古典』 ・『基本の古典 古文漢文』 ・『古文単語330』
	期 末	～「雅」の世界に浸る～ 教科書 古文『伊勢物語』 ～「漢詩」を味わう～ 教科書 漢詩 ・『すらすら読める速読古典』 ・『基本の古典 古文漢文』 ・『古文単語330』
第二 学期	中 間	～和歌を味わう 創作する～ 教科書 古文 百人一首 物語創作（夏期休暇課題） ～中国の散文を読む～ 教科書 漢文『陶淵明集』 「五柳先生伝」 ・『すらすら読める速読古典』 ・『基本の古典 古文漢文』 ・『古文単語330』
	期 末	～平安時代 女性の生き方を考える～ 教科書 古文『蜻蛉日記』 「町の小路の女」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」 ・『すらすら読める速読古典』 ・『基本の古典 古文漢文』 ・『古文単語330』
第三 学期	学 年 末	～長編作品を読む～ 教科書 古文『源氏物語』 ～中国の思想を学ぶ～ 教科書「老子」 ・『すらすら読める速読古典』 ・『基本の古典 古文漢文』 ・『古文単語330』

化学(2022年度)

単位数	4単位
担当	稲津・菱山
教科書	改訂 新編化学 (東京書籍)
対象生徒	高校2年 選択Ⅱ(CD)

1. 授業の目標

第1学年において基礎科目が既に履修済みである。一般入試に対応できる力をつけさせるため、科学的思考や考察の育成のみでなく、計算力など数学的思考や考察の発展にも力を注ぐ。また、実験に対する知識や報告書作成といった内容も扱う。理論化学分野は計算力の定着、有機化学・無機化学の分野に関しては、単なる暗記にとどまらず、反応機構をきちんと理解した上で反応式を正しく書けることを目標とする。

2. 副教材・参考書

Let's Try Note 化学 (東京書籍)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

理論分野は、計算問題に重点をおいて進めていくので、数学的な力が必要になる。無機・有機化学分野は単純な暗記に頼らず、反応機構を確認しながら学習を進めていく。さらに実験を行い、レポートにまとめることで理解を深める。内容に関してはどの単元においてもこまめに小テストを行い、理解度の確認を行う。

4. 宿題・課題・再試について

適宜プリントや実験レポートの提出がある。これをパフォーマンス評価として成績に反映させる。

5. 評価の基準について

定期試験の得点, 小テストや実験レポート等のパフォーマンスにより、以下の表のように観点別評価をつける。

	定期試験 (80%)		パフォーマンス (20%)
A	物質に関する概念や原理・法則を理解し、現代の生活を支える化学の役割や人間生活との関わりについて考察できる。	身の回りで起きている自然現象や変化について化学的に説明し、問題点や解決策を示すことができる。	報告書の作成において、考察すべき内容を考え、自分の言葉でまとめることができる。また、自らが考えて情報収集、集計方法などを的確に行うことができ、得られたデータから考察、推測ができる。
B	物質に関する概念や原理・法則を理解し、物質が日常の様々な場面で関わっていることを理解できる。	身の回りで起きている自然現象や変化について化学的に説明できる。	報告書の作成において、与えられた考察を、自分の言葉でまとめることができる。
C	物質に関する概念や原理・法則を理解している。	身の回りで起きている自然現象や変化について興味をもっている。	報告書が提出できている。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

※ 定期試験とパフォーマンスの割合は、変更の可能性がある

6. その他

授業計画は予定であり、多少前後する可能性がある。なお3編 化学反応の速さと平衡は夏期セミナー等で扱う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	中間	1 編 物質の状態(1~4 章) <ul style="list-style-type: none"> ・ 物質の三態と状態変化 ・ 気体の性質 (ボイルシャルルの法則・気体の状態方程式) ・ 溶液の性質 (沸点上昇・凝固点降下、希薄溶液の性質、コロイド) ・ 結晶の種類と性質、構造 (格子)
	期末	2 編 化学反応とエネルギー (1~2 章) <ul style="list-style-type: none"> ・ 反応熱と熱化学方程式、ヘスの法則、結合エネルギー、光とエネルギー ・ 電池と電気分解 ・ 反応速度、反応速度式、触媒 ・ 化学平衡、ルシャトリエの原理、電離平衡、塩と化学平衡
二学期	中間	4 編 無機物質(1~4 章) <ul style="list-style-type: none"> ・ 周期表と元素 ・ 水素と希ガス、ハロゲンとその化合物、酸素・硫黄とその化合物、窒素・リンとその化合物、炭素・ケイ素とその化合物 ・ アルカリ金属とその化合物、2 族元素とその化合物、1.2 族以外の典型金属元素とその化合物、遷移元素とその化合物、金属イオンの分離と確認
	期末	5 編 有機化合物(1~3 章) <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機化合物の特徴、分類、命名法 ・ 炭化水素、元素分析 ・ アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、油脂、セッケンの性質
三学期	学年末	5 編 有機化合物(4~5 章)、6 編 高分子化合物(1~3 章) <ul style="list-style-type: none"> ・ 芳香族炭化水素、酸素 ・ 窒素を含む芳香族化合物の性質、有機化合物の分離 ・ 有機化合物と人間生活 ・ 高分子の分類と特徴 ・ 糖類、アミノ酸、タンパク質、核酸 ・ 合成繊維、合成樹脂、ゴム ・ 機能性高分子

英語表現Ⅱ (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	斉藤, 稲石, 山本, リカ
教科書	Vision Quest English Expression II (啓林館)
対象生徒	高校 2 年 選択Ⅱ (E F)

1. 授業の目標

読む・聞く・話す・書くの 4 技能が身につくよう指導する。中学 3 年間及び、高校 1 年間で学習した既習事項の定着に重点を置き、各検定試験に向けて対応できる力をつける。

2. 副教材・参考書

各授業で補助プリントを使用する。

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

既習事項の整理・定着させるために授業後の復習が大切である。実際に英語を話したり、書いたりするアウトプット活動が授業では多いので、間違いを恐れずに積極的に参加すること。

4. 宿題・課題・再試について

文法項目を学んだあと、反復練習と確認のための課題を出す。また、スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する機会が多く設ける。

5. 評価の基準について

- ・授業内試験の点数から 10 段階で評価する。課題の提出物、授業内小テスト、授業発表も評価内に含む。パフォーマンス評価はリカ先生の授業評価を 50 パーセント、日本人の授業内容、試験内容を 50 パーセントとする。定期試験は各学期、期末試験のみ行う。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	基本問題(定期試験)	応用問題 (定期試験・パフォーマンステスト)	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する課題・問題に対応できる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して課題・問題に取り組むことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	授業を応用した課題・テストにも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	(日本人教員) Vision Quest English Expression II Lesson 1/ Lesson 2 (主語、動詞を決める) ・ 60 語程度の英文を書く課題提出。
		(Native Speaker の教員) Goal: Students can write and respond to a invitation via e-mail. ・ 1st Test: Write an e-mail to a friend inviting them to a party. ・ 2nd Test: Write two email responses to a friend's invitation (accept and decline)
二学期	期末	(日本人教員) Vision Quest English Expression II Lesson 2 (主語、動詞を決める) Lesson 3 (動詞を決める、使役動詞など) Lesson 4 (動詞の形を決める、時制など) ・ 60 語程度の英文を書く課題提出。
		(Native Speaker の教員) Goal: Students can use phrases for giving advice independently. ・ 1st Test: List 2 things that you would advise and 2 things you would advise against (to a girl of your age) about the internet. ・ 2nd Test: Choose (1) advice and make a poster about it.
三学期	学年末	(日本人教員) Vision Quest English Expression II Lesson 4 (動詞の形を決める 時制など) ・ 60 語程度の英文を書く課題提出。
		(Native Speaker の教員) Goal: Students can describe different trends in a graph and explain it clearly. ・ 1st Test: Describe the given graph using the phrases you learned. ・ 2nd Test: Give a presentation using the same graph.

数学B (2022 年度)

単位数	2 単位
担当	生嶋, 小西
教科書	数学B Standard(東京書籍)
対象生徒	高校2年 選択Ⅱ(E)

1. 授業の目標

数列とベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。 ※3章「確率分布と統計的な推測」は除く

2. 副教材・参考書

Standard Buddy WRITE II+B (東京書籍)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、WRITE 問題集、宿題プリントで復習する。疑問点は質問し、放置しない。
- ・試験前に放課後セミナーを実施する。試験の最終確認に活用すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・WRITE 問題集、宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は 50 点以上とする。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本 60%応用 30%)、提出物(10%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 数列 ・数列(数列, 等差数列, 等差数列の和, 等比数列, 等比数列の和)
	期末	・いろいろな数列(数列の和と記号 Σ , 階差数列と数列の和, いろいろな数列) ・漸化式と数学的帰納法(漸化式, 数学的帰納法)
二学期	中間	第2章 ベクトル ・平面上のベクトル(有向線分とベクトル, ベクトルの加法・減法・実数倍, ベクトルの成分)
	期末	・平面上のベクトル(ベクトルの内積) ・ベクトルの応用(位置ベクトル, ベクトルの図形への応用, ベクトル方程式)
三学期	学年末	・空間におけるベクトル(空間座標, 空間のベクトル, ベクトルの内積, 位置ベクトルと空間の図形) ※「第3章 確率分布と統計的な推測」は学習しない

単位数	2 単位
担当	七島 高橋 樋口 天野
教科書	新家庭総合 (実教出版)
対象生徒	高校 2 年 選択(E)

1. 授業の目標

保育士・幼稚園教諭など、将来、子どもと接する職業を目指す生徒を対象とする。
オリジナル絵本やエプロンシアターなどの制作を行う。
作品の実演を通じて子どもを楽しませるだけでなく子どもの積極性や観察力を高めることができる。
豊かな表現力を習得する。

2. 副教材・参考書

各学期の課題に応じたプリント教材

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- 各学期において、授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- オリジナル作品を作成する際は、既成の作品の模倣ではなく、自分の個性を出す工夫をする。

4. 宿題・課題・再試について

- 各学期のまとめノート・作品・発表の点数をパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限までに提出する。
- 必要に応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- 各学期の課題について、パフォーマンス評価(100%)として評価をする。
- 年度の状況によって内容を変更する場合がある。
 - 1 学期：①ノート点 10%・②絵本読み聞かせ 20%・③オリジナル絵本製作 70%
 - 2 学期：①ノート点 10%・エプロンシアター (②作品 30%・③台本 20%・④発表 40%)
 - 3 学期：①ノート点 10%・②オンライン折り紙課題 10%
③ダンスふり写し指導案 20%・④お面制作 10% ④ダンス発表 50%

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	<p>ガイダンス 子どもを取り巻く問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園と幼稚園の違い、ニュース記事などの資料から子どもを取り巻く問題をまとめ、意見をまとめる。 <p>絵本の読み聞かせ（実習）</p> <p>「好きな絵本」をロイロノートで紹介する。</p> <p>「絵本」の読み聞かせ（発表）</p> <p>オリジナル絵本作り</p> <p>「オリジナルの絵本」の制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーリーを考える。 ・ 展開・絵コンテ作り ・ 発表会 ・ 感想を交換し、振り返りを行う。 <p>夏休みの課題（2学期にむけて）</p>
二学期	なし	<p>エプロンシアター</p> <p>「オリジナル絵本」をもとに、「エプロンシアター」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台本をロイロノートで作る。 ・ エプロンシアター制作 ・ エプロン作り ・ フェルトでキャラクター作り ・ 発表練習 ・ 全体での発表会 <p>2学期の振り返り 冬休みの課題（3学期にむけて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期の振り返り <p>感想を交換し、振り返りを行う</p>
三学期	なし	<p>お遊戯（ダンス）の作品作り</p> <p>幼児が親しみやすい曲を選び、お遊戯（ダンス）をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループわけ（4～5名） ・ 曲を選ぶ。 ・ 各個人パートの分担 ・ 各個人のお遊戯振り写しシートの作成 ・ お面作り ・ 発表会 ・ 感想を交換し、振り返りを行う。 <p>※オンライン授業を行う時は幼児教育に関する課題を適宜取り入れる。</p>

トレーニング論(2022年度)

単位数	2
担当	芦田
教科書	
対象生徒	高校2年・3年 選択Ⅱ(E)

1. 授業の目標
トレーニングについて理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を具体的かつ行動的に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
2. 副教材
プリント
3. 学習する上での留意点、アドバイス等
単に1教科だけでなく関連の教材や積極的な学校生活が送れるようにする。
日常生活で健康問題に遭遇した場合に活用できるように自らの心身への興味・関心を促す。
4. 再試について
特になし
5. 評価の基準について
試験の得点及びノート提出などのパフォーマンス評価を出して評価する。

	筆記試験	パフォーマンス (調べ学習課題)	パフォーマンス (提出物)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%	30%~80%	30%~80%
C	0%~30%	0%~30%	0%~30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

高校2・3年トレーニング論 担当 芦田

学期	試験	月	授業内容 (教材)	指導内容・単元目標 実験・備考等
第一学期	期末	4	理論と実践 筋肉や骨格の名称 筋の構造 (遅筋・速筋) トレーニングの原理原則	座学を1時間行ったのち、体育館等で学習した筋肉 (部位) を意識しながら体を動かしていく。
		5	行動体力・防衛体力 筋肉とエネルギー 筋収縮、主働筋、拮抗筋、運動単位 関節角度と可動域	座学を1時間行ったのち、体育館等で学習した筋肉 (部位) を意識しながら体を動かしていく。
		6	五輪アスリートの講演 トレーニングの種類	五輪アスリートの講演を聴き、オリンピック開催に向けて機運醸成を図る。 トレーニングの種類を座学で学び、それを実践する。(サーキットトレーニングなど)

		7	授業内試験 レポート課題提出	1学期の総まとめとして、授業内で試験を行う。またこれまでの調べ学習の成果を提出し、評価する。 試験結果をもとに全体的に理解できていない単元を振りかえり学習を行う。
第二学期	期末	9	ウォーミングアップ&クールダウン コンディショニング 食事とトレーニング サプリメント	座学を1時間行ったのち、体育館等で学習したウォーミングアップ&クールダウンを行う。
		10	女性アスリートの3主徴 スポーツ傷害とその予防	怪我をした際の対処方法として、テーピング方法を学ぶ。また女性アスリートの3主徴である膝の症例について学び、けが防止の運動を学ぶ。
		11	第1回体力テスト(トレーニング論の授業用) トレーニング計画の立て方	体力テストを行い、現在の体力レベルと確認する。 体力テストの結果を踏まえてトレーニング計画を立てる。
		12	授業内試験 レポート課題提出	2学期の総まとめとして、授業内で試験を行う。またこれまでの調べ学習の成果を提出し、評価する。 試験結果をもとに全体的に理解できていない単元を振りかえり学習を行う。
第三学期	学年末	1	第2回体力テスト	2回目の体力テストを行い、自身の身体がどのように変化したのかを確認し、振り返り感想を書いてまとめる。
		2,3	授業内試験 レポート課題提出	1年間の総まとめとして、授業内で試験を行う。またこれまでの調べ学習の成果を提出し、評価する。 試験結果をもとに全体的に理解できていない単元を振りかえり学習を行う。

マナー講座 (2022 年度)

単位数	2単位
担当	中村, 中野, 永井
教科書	なし
対象生徒	高校2年・3年 選択(E)

1. 授業の目標

マナーは国や時代・文化によって異なるが、共通する点は相手を思いやる心である。

このマナー講座では、主に日本のマナーについて学び、日本文化を理解し、礼儀作法やマナーを身に付ける。3分野から構成されており、倫理・マナー分野では礼儀作法・敬語の使い方・メールの書き方・電話の応対、善や悪、マナーや道徳について学び、「より良く生きる」とはどのようなことかを学ぶ。

茶道では、作法を通して日本人が大切にしてきた文化、禅のこころ・茶のこころに触れ、日常生活の中に活かせることを目標とする。

華道では、日本の伝統的な文化の1つでもある華道の基本的な知識を学び、さらに今の生活の中で活かしていく工夫を知る。

2. 副教材・参考書

- ・なし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・各学期において、授業内で疑問を解決し、計画的に提出物等を提出する姿勢で参加することが望ましい。
- ・茶道と華道については、「温故知新」、昔の智慧を学び、今に生かす姿勢が重要である。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ノートや作品・発表の点数をパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限までに提出する。
- ・必要に応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題について、パフォーマンス評価（100%）として評価をする。
 - 1 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%
 - 2 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%
 - 3 学期：茶道 25% 華道 25% 倫理・マナー50%

6. その他

授業計画			
学期	試験	分野	授業内容(教材)
第1学期	期末	茶道	1. (座学) ガイダンス 茶道についての基本的な知識、茶花について、お道具についての説明、お辞儀の種類、挨拶の仕方、茶道の発祥や流派について 2. (座学+ワークショップ) 茶道についての基本的な知識 基本の作法について (お辞儀の作法や、足の運び、玄関からの入り方、お辞儀の仕方など) 3. (実技) 裏千家の基礎 盆略手前

		華道	<p>1. ガイダンス 華道の基本的な知識、道具の取り扱い方、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>2. ワークショップ+先生のデモンストレーション 華道の歴史や基本的な知識、生け方の基礎を学ぶ。 先生の生け方を見ながら基礎を学ぶ。 いけ終わった作品を見て、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶその1 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートを書く。</p>
		倫理	<p>1. 倫理・マナー・道徳とは何だろう。</p> <p>2. 校内におけるマナー違反を考える。 校内のマナー違反の実態を探る→対策を考える。</p> <p>3. 校内のマナー違反と対策のプレゼンテーション</p>
第二学期	期末	茶道	<p>1. (実技) 裏千家の基礎 足の運び、襖の開け方、割り稽古(茶巾の扱い方、帛紗の扱い方、懐中の仕方、付け方、捌きかた、茶筌通し、お茶碗の清め方、仕組み茶碗の仕方、お盆の持ち方)</p> <p>2. お茶碗の持ち方、お茶の運び、お茶の頂き方、お菓子の頂き方</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その2 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊のミニチュア花器の基礎を学ぶ 小さな空間でお花をいける基礎を学び、お花ノートに書く。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その3 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>4. アレンジメントの基礎を学ぶ 季節にあったアレンジメント作成を行い、お花ノートに書く。</p>
		倫理	<p>1. 倫理・マナー・道徳と宗教は、日本の社会のマナーとどのように結びついているか。</p> <p>2. 校内マナー向上のためのポスター作製</p> <p>3. 電話の対応を考えるー普段の言葉使いと配慮についてー</p> <p>4. 秘書検定の問題からマナーについて考える</p>
第三学期	学年末	茶道	<p>1. (実技) 裏千家の基礎 盆略手前</p> <p>2. お稽古を通して学んだこと、気づいた事のシェア</p> <p>3. お客様としての作法(お菓子のいただき方、お茶のいただき方)</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その4 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その5 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p>
		倫理	<p>1. 仏教から経済を考えるーSDGsとの関係からー</p> <p>2. マナー講座の映像から考える</p>

プログラミング入門(2022 年度)

単位数	2 単位
担当	小川 哲平 関 真人
教科書	なし
対象生徒	高校 2 年・3 年 選択(F)

1. 授業の目標

- ・プログラミング言語における種類ごとの特長の違いを理解し、アプリケーションの作成を目指す。
- ・情報の収集、処理、発信などの活用能力を身につける。

2. 副教材・参考書

- ・教員の作成した資料を使用

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・1/2/3 学期と違うプログラミング言語を学びます。
- ・最初に学習するフローチャートは、プログラム言語が変わっても共通であるので身に付けましょう。
- ・1 学期にフローチャートをしっかり理解すると、2 学期以降の学習がスムーズになります。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業内で説明します。

5. 評価の基準について

- | | |
|--------|--|
| 1 学期 : | } テストはありません。授業内の課題をこなし加点課題等にチャレンジしてください！ |
| 2 学期 : | |
| 3 学期 : | |

6. その他

- ・パソコン室で学習します。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	プログラミング言語における基礎のフローチャートと JavaScript の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートとプログラミングのソースが一致していることを学び、プログラミング思考を養う
二学期	期末	ヴィジュアルソフトの特長と VBA(VisualBasicforApplications)の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートが基礎であることを確認し、VBA の特長や役割を学ぶ。
三学期	学年末	プログラミング言語における、コンパイル言語の特長と Swift の立ち位置や役割を学ぶ。 ・フローチャートが基礎であることを確認し、iPad を活用し Swift のプログラミングを通して、コンパイル言語の特長と立ち位置や役割を学ぶ。 ※実習・課題に関して 3 年生は 1 月提出、2 年生は 3 月提出

コ・メディカル入門(2022年度)

単位数	2単位
担当	丸山 二見
教科書	
対象生徒	高校2年・3年 選択(F)

1. 授業の目標

看護・医療・福祉・心理系など将来の職業を目指す生徒を対象とする。

2. 副教材・参考書

学期ごとのプリント教材

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・コ・メディカルの職種に興味を持ち、積極的に取り組むことが望ましい。
- ・作品を作成する際は、自分の個性を十分にさせるものにする。
- ・実習は十分に行う。
- ・発表は事前練習をしっかりと行う。

4. 課題について

・单元ごとの課題はパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限を守る。

5. 評価の基準について

- ・発表・実技 30% 小テスト 40% 課題・作品 30% により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	発表・実技	小テスト	パフォーマンス(課題・作品等)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%	30%~80%	30%~80%
C	0%~30%	0%~30%	0%~30%
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

特になし

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	授業内	コ・メディカルとは オリエンテーション インフォームドコンセント 興味のある職種を調べて発表する 医療福祉問題について 齢社会の現状・高齢者を取り巻く医療とケア 認知症サポーター養成講座 外部講師
二学期	授業内	普通救命講習講座 座学・実技 疑似体験 車いす・松葉つえ・白杖・妊婦・手話 医療福祉問題について がんについて 外部講師 発表
三学期	授業内	健康寿命を考える 健康マスター検定 医療福祉問題について 臓器移植について 安楽死について

生活デザイン入門(2022年度)

単位数	2単位
担当	七島, 川里,
教科書	生活学 Navi (実教出版)
対象生徒	高校2年・3年 選択(F)

1. 授業の目標

実習を通して持続可能な社会を目指す。

家庭総合で習得した基礎を元に、自分なりにアレンジを施した個性的な作品を製作することができる。
生活を豊かにするための知識や技術を習得する。

2. 副教材・参考書

副教材：「生活学 Navi 資料+成分表、動画」実教出版

実習：「手縫い教材」「型紙、フリース布地」

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

1学期：「日常生活についての課題」提出 「手縫い教材・お弁当袋」製作提出 「トートバッグ」製作

2学期：「トートバッグ」製作 「製作の記録（感想と自己評価）」提出 「パーカー」製作

3学期：3年→「パーカー製作」「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」提出

2年→「パーカー製作」「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」提出

「コンビニから見えること」レポート提出

4. 宿題・課題・再試について

1学期：日常生活に関する課題（新しい生活様式、食品の表示、理想の家、エコライフ）

「手縫い教材・お弁当袋」作品点

2学期：「トートバッグ」作品点、「製作の記録（感想と自己評価）」

「パーカー」作品の部分点

3学期：3年→「パーカー」作品の部分点、「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」

2年→「パーカー」作品の部分点、「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」

「コンビニから見えること」レポート

5. 評価の基準について

1学期：課題 60%、作品 40%

2学期：作品・記録 80%、パーカー20%

3学期：3年→作品・記録 100% 2年→作品・記録 80%、課題 20%

6. その他

進捗状況が変更した場合、作品の部分点・評価基準などを変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	<p>生活学 Navi</p> <p>日常生活の課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大にともない始まった「新しい生活様式」について理解し、あらためて各自ができる事を考える。</p> <p>食品を購入する際に何を条件に選択しているか考え、正しい選択ができるようにする。</p> <p>将来の「理想の家」を作成する。</p> <p>持続可能な社会に向けてできる事を考える。（エコライフ）</p> <p>基礎縫い（手縫い）</p> <p>お弁当袋</p> <p>基礎的な縫製技術（手縫い）を身につける。</p> <p>ミシン縫い</p> <p>トートバッグ</p> <p>ミシン、備品の扱い方を習得する。バッグに適した布を選び、必要な材料を購入することができる。</p>
二学期	なし	<p>ミシン縫い</p> <p>トートバッグ</p> <p>自分なりにアレンジを施したバッグを自由に製作することができる。作品の自己評価・感想をまとめる。</p> <p>ミシン縫い</p> <p>パーカー</p> <p>型紙を用いて被服製作に取り組む。フリース素材の縫製技術を身につける。</p> <p>衣服の構成について理解する。</p>
三学期	なし	<p>ミシン縫い</p> <p>パーカー</p> <p>作品の自己評価・感想をまとめる。フリースの特徴について調べる。</p> <p>生活学 Navi</p> <p>コンビニから見えること</p> <p>多機能化するコンビニを知る。コンビニの現状を知る。最も売れるお弁当について考える。</p>